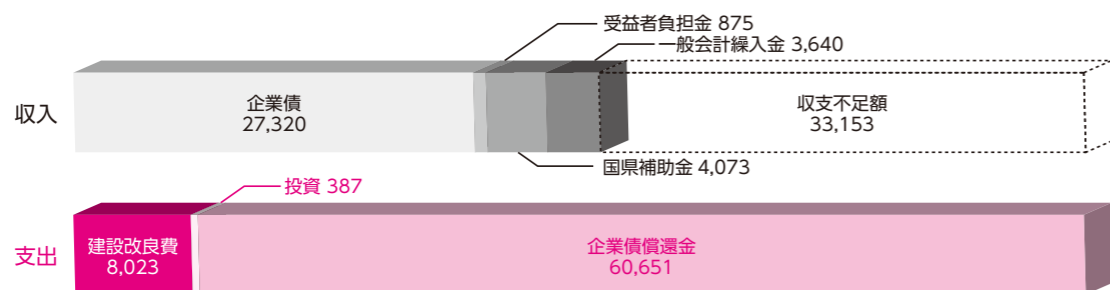


下水道事業 決算状況

(2) 資本的収支【税込み】

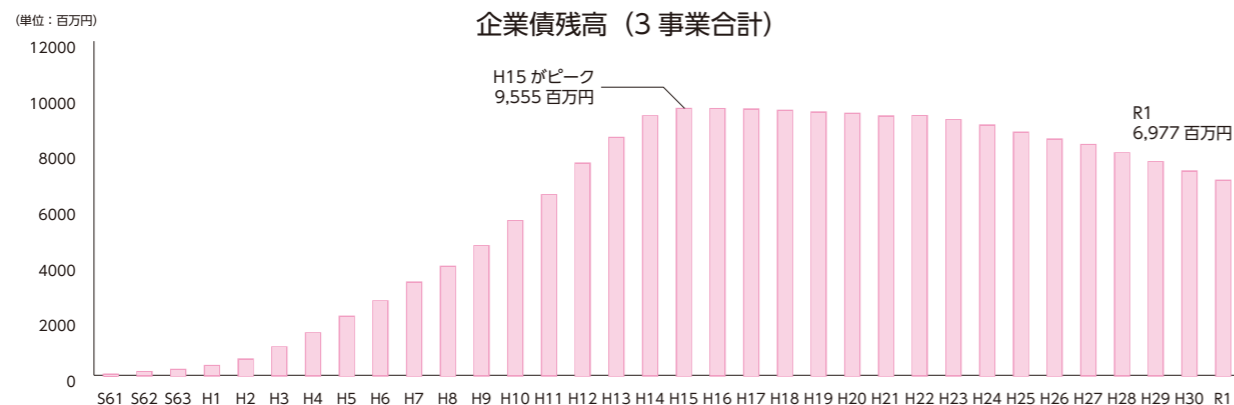
収入合計 35,908 万円
支出合計 69,061 万円

33,153 万円の赤字



資本的収支では、収入額 35,908 万円に対して支出額は 69,061 万円となり、33,153 万円の不足となりました。その不足に対しては、水道事業と同じく減価償却費等（非現金支出）や積立金を取り崩して補てんしましたが、それでもなお不足するため当期純利益を取り崩して補てんしています。

建設改良工事は、公共下水道事業では西根杉ノ崎地区他 1 地区で下水管を新たに布設し、農業集落排水事業では三ヶ尻地区の処理施設の機能強化工事を実施、浄化槽事業では新たに 3 基の設置工事を行いました。



下水道事業会計の中で 1 番費用が大きい企業債償還金は 60,651 万円であり、その返済にかかる利息は 11,562 万円となっています。

返済には、返済財源が無いため、返済するため新たに約 24,000 万円の借入を行いました。それにより令和元年度末での企業債（借金）残高は、697,705 万円となりました。

下水道事業のまとめ

下水道事業会計は、一般会計からの多額の繰り入れ（令和元年度は 41,300 万円）や借入金に頼るも、年度途中には手持ち資金に不足が生じ水道事業会計から一時借入を行っている状況であり、更には資本的収支の不足額に内部留保資金（減価償却費や利益等）をほぼ使い切っているため、今後見込まれる老朽化への対応や災害などへ対応するための財源確保が課題となっています。

☎ 上下水道課 (☎ 44-2136)

下水道事業の決算状況

1. 年間業務量

区分	令和元年度	平成 30 年度	比較
①行政区人口	15,550 人	15,569 人	△ 19
②水洗化人口	13,516 人	13,428 人	+ 88
③汚水処理戸数	5,163 戸	5,004 戸	+159
④普及率 (② / ①)	86.9%	86.2%	+ 0.7
⑤年間総処理量	1,321,945m ³	1,327,544m ³	△ 5,599
⑥処理有収水量	1,220,707m ³	1,217,293m ³	+ 3,414
⑦有収率 (⑥ / ⑤)	92.3%	91.7%	+ 0.6

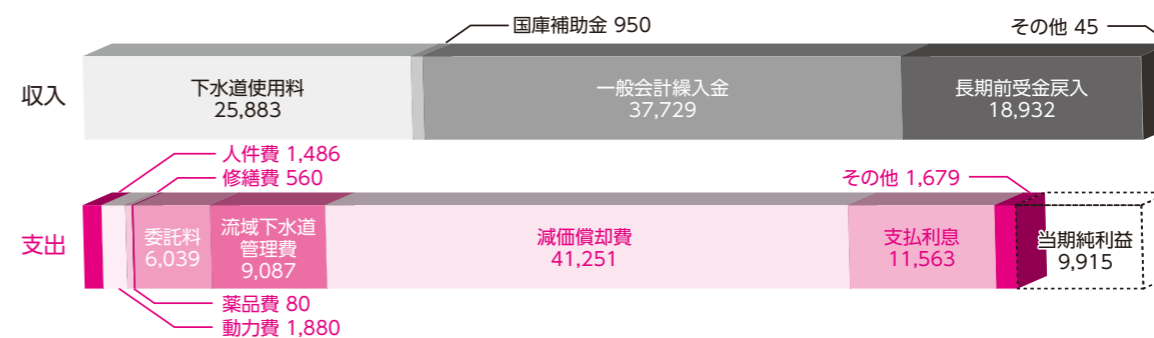
令和元年度は、平成 30 年度と比べ、全体では水洗化人口、処理戸数、処理水量は増加となったものの、農業集落排水の水洗化人口および処理水量は減少しています。

2. 経営状況

(1) 収益的収支【税抜き】

収入合計 83,539 万円
支出合計 73,624 万円

9,915 万円の黒字



収入では、水洗化人口や処理有収水量の微増により、使用料収入は前年度と比較して 0.4% 増の 25,883 万円となりました。収入全体では 83,539 万円となり前年度と比較して 2.2% の減となりました。支出では、経費の節減を図っており、支出全体で 73,624 万円となり前年度と比較して 2.2% 減となりました。

これにより収支は 9,915 万円の純利益（黒字）となりましたが、収入には長期前受金戻入* という非現金収入が含まれており、この非現金収入を除くと令和元年度は実質 9,017 万円の損失（赤字）となっています。

*長期前受金戻入

固定資産の取得時の補助金や負担金を全額、長期前受金（繰延収益）として貸借対照表の負債の部に計上し、その分の減価償却費相当を長期前受金戻入（現金の伴わない収益）として計上するもの。